

わーるど

第4号

2002.10.1

ウェルカム 稲美町

●●● 10カ国15人の留学生がホームステイ ●●●



▲留学生と老人クラブの人々が1対1でわらぞうりを作り、交流を深めました（総合福祉会館）

夏祭りアオザイを着て声はずみ
案山子

同様に交流したのは、小中学生、高校生、PTA、青壮年などの多くの人々でした。「（国際交流は）外国人の日本の勉強でもあり、私たちの勉強でもあった。もう一人の方からは、草履は大東亜戦争（太平洋戦争とは呼はない）の敗戦後に、これを家で作つて学校の上履きに使つたことを昔の思い出に語つてくださいました。

お年寄りからは、「孫に会った感じで、とても楽しくなっちゃに草履作りができました」というコメントをいただきました。外國からの留学生15人（10カ国）が老人クラブの皆さんとわら草履作りに取り組みました。

お年寄りからは、「孫に会った感じで、とても楽しくなっちゃに草履作りができました」という感想（天満東小六年）に、私はドキリと心を動かされた次第です。これをよく考えると、外国留学生に我が家・自分を紹介しているうちに、意外にも足元にいつか忘れていたもの――古き良き時代の宝の山に気づきます。例えば茶の湯習字などがその一端ではないでしょうか。そして、民族衣装の披露に盛り上がったあの夜のことは忘れません。

稻美町――わが故里は宝の山
稲美町国際交流委員会
委員長 篠内 捷之



レムス（ルーマニア）

稻美町に着いたとき、音楽とバトンで迎えてくれて、感激した。食べ物もおいしかった。



アニヤ（モンゴル）

一緒に住んでいた間に「姫」と呼ばれて、本当によくお世話をしてくれました。私の家族と思いつようになりました。



アディ（ブルガリア）

中学生と話したり、歌ったりして、楽しかったです。ダンスをすることもおもしろかったです。



チュイ（ベトナム）

日本的小学生は、とてもかわいくて親切でした。ゲームはおもしろいと思いました。



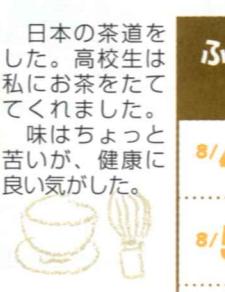
ヘ・ヒョン（韓国）

歓迎会は、すばらしかったと思う。まるでヒロインにでもなったような気持ちだった。



エビ（ナイジェリア）

日本の茶道をした。高校生は私にお茶をたててくれました。



ゴルフ（タイ）

味はちょっと苦いが、健康に良い気がした。



ガルマー（モンゴル）

私はホストファミリーといろいろなところへ行きました。私はフリータイムが一番好きです。



アデリス（ペネズエラ）

ホストファミリーの人たちは、とても親切でやさしいと思う。日本の生活について、今、わかるようになった。



マルセロ（ブラジル）

私はホストファミリーから日本語をたくさん習いました。日本の文化も習いました。ホストファミリーが大好きです。

ふれあい交流 “いなみ野の里” スケジュール

8/4日 歓迎会

- ・対面式
- ・歓迎会

8/5月 小学校訪問

- ・小学生との交流
- ・PTAとの会食（天満東小）

フリータイム

8/6水 姫路城へオプショナルツアー

- ・六甲バター工場見学
- ・中学生との交流
- ・万葉茶会

8/7木 町内見学会

- ・老人クラブとの交流
- ・農家見学（丸尾信夫宅）
- ・青壮年との交流

フリータイム

8/8木 町内見学会

- ・老人クラブとの交流
- ・農家見学（丸尾信夫宅）
- ・青壮年との交流

8/10土 フリータイム

- （大池まつり）

8/11日 お別れ会

ホストファミリー反省会

青壮年交流で同じくらいの年の人に会った。うれしさは一番高い。みんな正直で、親しい友だちになった。



ファン（ベトナム）

わらぞうりの作り方はおもしろくて、楽しかったです。老人クラブの人はみんなやさしく教えてくれました。



オルガ（ハンガリー）

キャベツの作り方を知りました。一度にたくさん苗を植えるのはすごいです。稻美町の畑はきれいです。



ラン（ベトナム）

編集後記

日本国内で数あるプログラムの中から、15人と大勢の外国人留学生が稻美町でのホームステイに参加しました。その参加動機には、日本人家族の日常の生活・習慣が知りたい、食事・田舎の生活・文化などが知りたいということでした。

私たちが海外旅行をして観光地を見るだけでなく、その国のことでもっと知りたいと思うのと同じです。

そんなことを思うあなたに、一度ホームステイの受け入れ家庭になってみませんか。かくいう我が家では、初めて留学生を受け入れてから、海外で3度もホームステイさせていただくチャンスを得ました。もちろん、その国の大ファンになっています。（N.M.）

皆はとても親切です。今、一緒にしたことを思い出しています。皆は私の本当の家族のようです。皆をとても愛していると言いたいです。



アート（タイ）

みんなとても親切です。千明ちゃんと私は本当に姉妹みたいでした。何回でもここに来たいです。毎度おおきに。



レ（ベトナム）



モンゴルの風に触れて

吉田 和子(稻美野荘園)
留学生 ケレルサイハン・アリュナー(モンゴル)
愛称: アニヤ

アニヤが老夫婦の我が家にいらしてから、毎日笑いが絶えず、まるで娘が一人増えたようでした。

毎日『キヨウノワタシノヨテイハ?』とかわいく聞いてくる彼女に、私たちはいつの間にか“姫”と呼ぶようになっていました。言葉だけでなくハートで会話ができたようすごくうれしかったです。

今年の夏は、本当にステキな経験をさせていただきました。
ありがとうございます、稻美町！アニヤ！



ようこそ！稻美へ

出来 比砂子(相の山)
留学生 マルセロ・エトゥード・サントス(ブラジル)
愛称: マルセロ

マルセロさんと過ごした1週間は、私たち家族はとても楽しく、有意義に過ごすことができました。ロシア、ポルトガル、イタリアの血の混ざった彼が自分はブラジル人などとても誇りに思っておられ、私たちにとっては頭の下がる思いで一杯です。

21世紀、日本は今、バブル崩壊後の大変な時期ですが、古い日本を知りたいという意欲がとても大きく、私たち日本人として大切に守り育てていこうと強く思いました。

そして、お父さん、お母さん、弟が大好きであるとおっしゃっています。人として一番大切なことをはっきり言っていることをしばらく思いました。世界の国々で、このことが一番大切です。

また来年も、こんな気持ちをもって、若者を育していく義務と、国際交流を大切にしていきたいと思います。



フオン君と過ごした 楽しかった一週間

福田 和代(六軒屋)
留学生 タン・フオン・カン(ベトナム)
愛称: フオン

この1週間は、私たちにとってとても忙しかったのですが、充実した日々でした。フオン君は大変真面目で好青年でした。色々、日本語で話してくれましたが、私がいつも眠たくて、遅くまでつき合うことができませんでした。

もっともっと、色々話し合えば良かったのに残念に思っています。

日本の文化の俳句を教えると、自分で考えて夏らしいセンスのある句を作っていました。何事にも一生懸命取り組む姿に、思わず感動しました。優しくて思いやがあり、本当にいい息子でした。

いつの間にか俳句の色紙を完成させ、私たち家族にもメッセージをくれました。

本当にこの1週間、ありがとうございました。



テケレモス アデ (アデ大好き)

木下 実由季(国岡)
留学生 マルステン・アテリス(ベネズエラ)
愛称: アテリス

「英語」ならずして「スペイン語」が飛び交った今年の夏。日本の反対側からやってきた美少女アデは、陽気な笑い声とチャーミングな笑顔で、あっという間に私たちを幸せの渦に巻き込んでくれました。

日本文化に親しんでいるアデ。何をするにも前向きで、何をするにも“楽しむ心”を忘れないアデは、息子の最良のお手本でした。

アデに会えた今年の夏を、私たちは幸せに思います。

オルガに会えて

中野 奈津子(国岡)
留学生 オルガ・ナジュ(ハンガリー)
愛称: オルガ

8月4日、不安と緊張で迎えた。オルガ・ナジュ、Fromハンガリー。

とてもかわいい背の高い女の子でした。オルガのお母さんはロシア人で、会話の中に必ずハンガリーとロシアが出てきてとても楽しい毎日でした。

日本のことを知りたいオルガに質問攻めにあい、「今時の日本人」と言われる私にとって、日本の風習など“何となく”とか“親がうるさいから”ぐらいにしか考えていなかったから、その由来について問われると答えに困ることばかりでした。世界を知る前にもっと日本を知らなければならないと思いました。

料理の大好きな彼女と毎日、日本、ハンガリー、ロシアの国の料理をつくり、失敗したときはジョークでお互いに笑いとばしながら、とても楽しい毎日でした。

オルガのおかげで私自身180度変われたことを感謝しています。



ようこそ！我が家へ

斉藤 隆(相の山)
留学生 ホアン・ファン・ゴク・ラン(ベトナム)
愛称: ラン

どのようにお迎えしたらよいのか。どのような料理をしようか。頭の中でいろんなことを考えながら当日を迎ました。

家に着いてから数時間、緊張ぎみで過ごしましたが、ランちゃんのご家族のこと、国のこと、私たちの家族のことなどを話したり、写真を見たりしているうちにすっかり



りうちとけ、さわやかでお行儀のよさに感心しながらの1週間でした。
ランちゃん、また遊びに来てね。私たち家族はずっとずっとあなたと交流できることを願っています。

ヘ・ヒョンちゃんと過ごした8日間

三木 千江美(国岡)
留学生 イム・ヘ・ヒョン(韓国)
愛称: ヘ・ヒョン



韓国からのお友だち、ヘ・ヒョンちゃんは日本語が際だってうまく、ひょうきんだったので、日常の会話の中で深いことまで普通に話しあいました。時々漫才のように、ボケとつっこみ風になり、みんなを沸かせて、毎日の夕食は宴会のように盛り上りました。それでいてさみしがりやのところがあり、家族5人はそれぞれの絆とつながりが暗黙の内にできあがったように思います。この8日間のプログラムはよく考えてくださっていて、留学生とホストファミリーにとって一日一日が貴重に心にしみ込んでいたのが感動的でした。

最後のステイの花火の夜、ゆかたを着せながらはしゃぐヘ・ヒョンに精一杯の思いを込めて帯を結んであげました。さあ、今からバーベキュー！ 夕暮れのたそがれどき、フィナーレの夜を楽しみましょう。レッツゴー！ すでに用意しておいた広場に親戚一同集まり「今日は最後の宴かな」、早く花火を見に行つといで、みんなでナイアガラに間に合うように…。



初めてのホストファミリー

久村 咲美(国岡)

留学生 グエン・レ・フィー(ベトナム)
愛称: レ

我が家新しい家族レちゃん。レちゃんは子どもたちがとても好きです。いつの間にか私たちは3姉妹の親になっていました。レちゃんは子どもたちととても仲良く、お風呂に入る時も寝る時も起きる時も一緒。

いつもケンカばかりしていた2人の娘たちも3姉妹になったとたんケンカもなくなり、とても仲の良い姉妹に大変身!

ベトナム語もいっぱい教えてもらいました。でも、すぐおぼえるのは子どもたち。私たちの存在は薄かったかもしれないけど。レちゃんは子どもたちにとても楽しい、大切な思い出深い1週間を過ごさせてくれました。そして、私たちに仲の良い3姉妹の姿で和ませてくれました。

また来てね。レちゃん、待ってます。

ガラちゃんとの夏!

大前 和美(国岡)

留学生 ゴムボスレン・ガラムハント(モンゴル)
愛称: ガルマー

まったく、知らない遠い国から来たガラちゃんとの1週間は、とても楽しく、あっという間の1週間でした。少し恥ずかしそうに話すガラちゃんでしたが、モンゴルのことなどたくさん教えてくれ、また、モンゴルのお母さんの味も作ってくれました。とてもおいしかったです。

姫路城見学、一緒に作った料理、大池まつり、娘と一緒に宿題などを、家族にとって忘れられない思い出になりました。

ありがとうガラちゃん。身体に気を付けて、がんばって!



どこでも始まる国際交流

林 立子(見谷)

留学生 ブラド・レムス・アレクサンドル(ルーマニア)
愛称: レムス

東欧のルーマニアからの留学生、ブラドレムス君。187cmの長身でかも居にあたりそう。彼だけが長身ではないそうで、国の人々は皆、背が高いそうです。

稻の穂がきれいにそろっているのを見て「美しい」と気に入り、歩くと近所でもすぐ目立ち、たくさんの人に声をかけてもらいました。

だれにでも笑顔で挨拶して、すぐに「どの国の人ですか」と交流が始まります。

ワールドカップの時の交流だけでなしに、身边に外国人人と交流ができるこのプログラムは、意義のあることだと思います。

ありがとうございました。

アオザイの似合う廿の子!

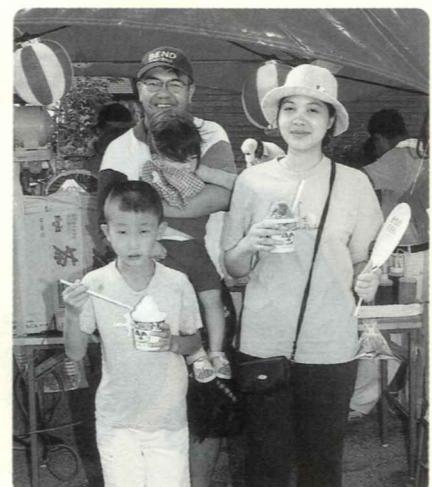
魚住 啓明(十七丁)

留学生 フアン・チコイ・ティ・チュ(ベトナム)
愛称: チュイ

チュイさんは、民族衣装(アオザイ)のよく似合う可愛い女の子です。とっても気さくで子どもたちともすぐ仲良しになり、よく面倒をみてくださいました。いつも笑顔で元気な姿は、親類の女の子が遊びに来たような気がする程でした。

しかし、向学心が強く真面目に過ごす姿は、ベトナムの未来を感じました。また、寸暇を惜しんで勉強する様子に、頭が下がりました。「日本人はもっと勉強している」と思われているのを知り、思わず絶句してしまったこともあります。

たった1週間という短い間でしたが、ベトナムをぐんと近づけてくれたチュイさん。楽しい思い出をありがとうございます。また、いつでも帰ってらっしゃい。子どもたちと楽しむに待っています。



夏のBIG EVENT☆

松本 真理子(国岡)

留学生 アントレバ・アトリア・フリスト(ブルガリア)
愛称: アティ



地球儀を回して「ブルガリアってどこや?」、インターネットでブルガリアを検索して「どんなもん食べるんやろ?」「寒いんかな?暑いんか?」etc...。あ~でもない、こ~でもないと、ホームステイが始まる前から想像を膨らましていました。

我が家にやって来たアティはとっても立ち居振る舞いの綺麗な美女でした。日本にきてまだ4ヵ月しか経っていないのにもかかわらず、書道・華道・茶道なんでもこなします。それにお箸の持ち方がとても綺麗なことに驚かされました。また、彼女は自分の国のことなども把握しています。話をしているうちに、私たち日本人は、なんて日本のこと知らないんだろう、なんて自分の国に関心がないんだろうということに改めて気づきました。

子どもたちもすぐにアティが大好きになりました。この1週間「アティは?」「アティは今日はどこ行ったん?」「何時に帰ってくる?」と気になって仕方なかったようです。ブルガリアの折り紙を教えてもらったり、ぬり絵・お絵かき・ビーズでプレスレットを作ったり、色々遊んでもらいました。

この夏は、私たちにとって子どもたちにとっても、素晴らしい一生忘れられない素敵な思い出になりました。アティありがとう! 試験が終わって時間ができたら、絶対遊びに来てね☆ 待ってます。



ニックネームは翼くん

松田 享子(上場)

留学生 ピヤワット・ピヤバイチャヨン(タイ)
愛称: コルフ

対面式で初めて会った翼くん(この名前はピヤワット君の私の家でのニックネームです)を見て、娘と私の第一印象は「あれ、タイの人? まるで日本のジャニーズ系やね」、可愛い青年でした。

話をすると、はい! そうです! ありがとうございました! とひと言ひと言歎切のいい返事が返ってきます。一緒に楽しんだ卓球、花火大会、川遊びなど良い思い出がたくさんできました。

子どもたちも、仲良くなつて来たころに、もうお別れです。でも、翼くんはこれから5年間、日本の大学に行くそうです。我が家は、翼くんの日本での実家になりました。学校が休みの時には、遊びにきてくれることでしょう。

いなみ野の里ホームステイは、出会いのきっかけをつくってくれました。私たちの交流は、今から始まります。

これからの翼くんの成長が楽しみです。「立派な息子がまた1人できたね」と主人と喜んでいます。

sawad di khrab!!

中谷 直之(印西南)

留学生 オンパヤット・シャウイン(タイ)
愛称: アーツ

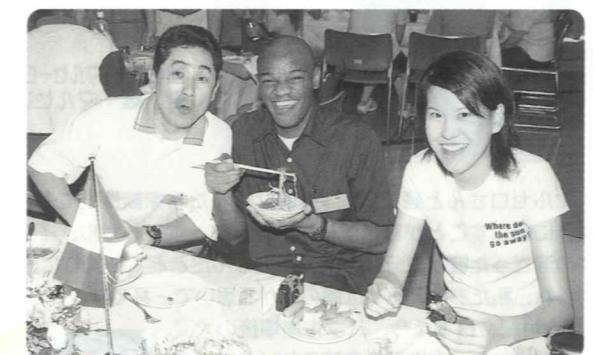
ホームステイで、我が家にやって来たのは、タイからの留学生「Chawin(シャウイン)君」、17歳。

彼がバスから降り、歓迎パーティが終わるまでの間、緊張して顔が少し強ばっている。何度か「リラックス、リラックス」と言っても苦笑いをするばかり。こちらもホストとしては、初めての経験なので上手くコミュニケーションができるか少々不安。でも、初日の夜に隣保のバーベキュー大会があり、少しずつ緊張もほぐれた様子。

我が家での生活ぶりは礼儀正しく、自己管理がきっちりできる男の子で、遅くなても勉強時間は必ず確保して机に向かっていました。そして、「シャウインは、なぜ、日本に勉強しに来たの?」という質問では、「家族と国と友だちのため」ときっぱりと言い切り、私は、思わずそばにいた我が子の顔を見てしまいました。(笑)

少しシャイで超マジメ、そして、すごく勉強家のシャウイン。あなたが言っていた夢と目標に向かって頑張れ! パパやママ、おばあちゃん、そしてEQおねえさんと「エコッチャ」おにいさんも応援しています。

今度は、ソンクラーンの時期にKrungthepで会いたいね! la kon(さようなら) ~Mr.Chawin Wongphyat



毎日がHAPPY

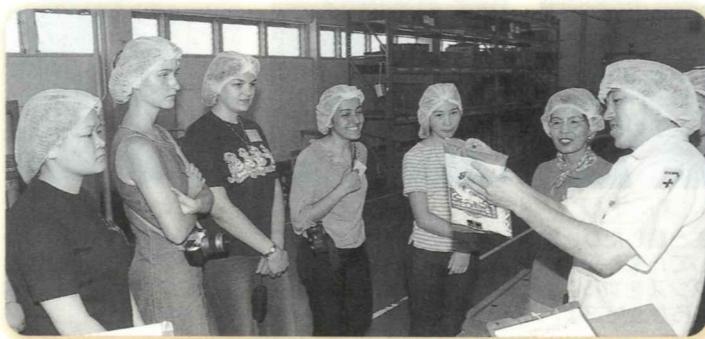
赤堀 暢俊(大沢東)

留学生 エロモセレ・エブラハム・アワー(ナイジェリア)
愛称: エビ

すてきな笑顔で「毎日がhappy」というAB(アルファベット)の始まりではなくニックネーム(エビ)これまで、行く機会がなかった遠い国アフリカナイジェリアのABと出会い、共に生活をしたこの1週間は、ちょっと忙しかったけど毎日が新鮮で、刺激的でもあり、そして感動の連続で、私たちも毎日が幸せでした。

AB、これからあなたの人生も毎日がHappyでありますように。

～六甲バター工場見学～



おいしいチーズはこうして作るんですよ

～小学生との交流～



(天満東小)

日本の昔の遊びを教えてあげるね

はじめは緊張して、あまりしゃべれなかったけど、ゲームをしていくと、話もはずんできた。おもしろい日本語も混じりながら、交流ができてすごく楽しかった。
(6年 藤本 美紀さん)

私たちの班の人は、レイさんとゴルフでした。ゴルフさんは、わらべ歌をすぐ覚えて、楽しめました。レイさんは折り紙をスラスラ折っていて、びっくりしました。
(6年 鈴木 かおりさん)

今日は国際交流。外国人の人と遊ぶのは初めて。日本の遊びを難しそうにしていた。ぼくたちが教えて、できたら、とても喜んでいた。プレゼントの国旗を渡すとうれしそうだった。
(6年 小澤 昇三さん)

オルガさんと交流して楽しかったです。お手玉で楽しんだり、折り紙を教えてあげたり。わらべ歌もしました。お別れの時は涙が出そうでした。また会たいです。
(6年 池田 もとさん)

さようなら
また、おいでよ!

～お別れ会～

楽しかった一週間

～農家見学～

日本の農業技術はすごい！
と思わずのぞき込む

～中学生との交流～



お互いの国の言葉を教え合いました

初めは不安でしたが、私たちの班のところに来た人はみんな日本語が上手でした。盆踊りでは私たちよりも、ノリノリで上手に踊っていて驚きました。
(長坂 裕美さん 稲中1年)

今日、いろんな人と交流をして楽しかった。盆踊りも自分が知らなかつた分、逆に楽しくできた。おもしろい人が多かった。
(有馬 三喜さん 北中3年)

外国人の人はみんないつも笑っていて、すごく明るかったです。英語が苦手だから不安だったけど、日本語混じりでも通じ合えて良かった。
(母里 有紀子さん 稲中3年)



～歓迎会～

ホストファミリーから花束を受け取り感激する留学生



～青壮年との交流～

話をした人はとてもおもしろく、自分の国の文化をいろいろ話してくれて良かったです。

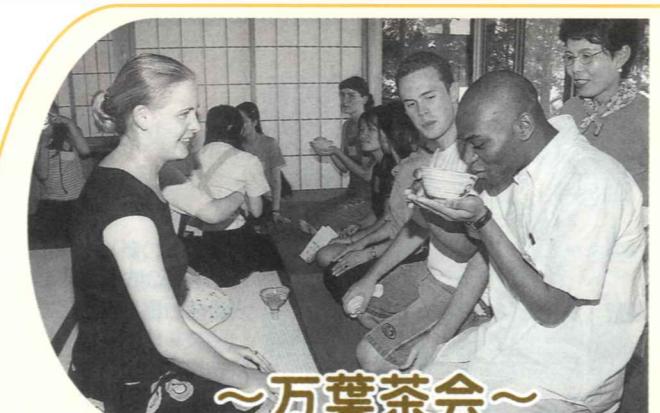
(田中 麻紀子さん 五軒屋)

エビに会えて良かったよ。フォンも日本語が上手でしたね。また、来ようかな。

(和泉 充地子さん 相の山)

今日はいろいろな国の留学生とお話しでき、他国の現状や農業のことなどプラスになるような話をしました。また、聞いてくださいね。

(井上 幸一さん 上場)



～万葉茶会～

昨年に引き続き、東播磨高校茶道部の皆さんのが手伝ってくれました

このような交流会で、日本独自の文化である茶道をいろんな国の人々に知ってもらうことが大切だと思いました。

(平田 直也さん 東播磨高校)

皆さん本当に日本語が上手で、日本の文化にすごく興味を持ってくれていて、会話も弾み、楽しい時間が過ごせました。

(藏 由里子さん 東播磨高校)

～PTAとの交流～



どう、初めて書いたとは思えないでしょう！

とっても楽しい交流会でした。習字をしたら、すごくうまくてみんなが輝いていました。

(桜野 弘子さん 相の山)

日本と違う国の人と直接話す機会が持て、とっても楽しく有意義な時間がとれ、本当に良かったです。

(柴原 笑子さん 岡西)

準備の時は相手の方のことも分からなかったのですが、色々話をしていくうちに、言葉ではないなあと思いました。

(名所 智美さん 十七丁)

～老人クラブとの交流～



息も笑顔もピッタリのヘ・ヒョンと藤原さん

ナイジェリアの男子青年は、電子工学を学んでいるとのこと。アフリカの人と初めて話しをしましたが、世界が平和であってほしいと思いました。

(井上 泰男さん 北山)

フォン君はとても熱心でいいね手つきで編んでいて、最後まで楽しんで作っていました。「おばあちゃん、ありがとう」とあいさつもあり、感激しました。

(赤坂 とくゑさん 十七丁)

15人の外国人さんでした。初めはなんなく…と思つていましたが、ぞうり作りをしていましたら、ほがらかでとっても良い人ばかり。本当に楽しかったです。

(本岡 八重子さん 八軒屋)